

年度:2020年 LOM番号:11

【褒賞申請書】

| | |
|-------|------------------------|
| 事業名称 | 子どもの生きる力創出事業～届け！私たちの声～ |
| カテゴリー | 最優秀 LOM 地域社会向上プログラム部門 |

| | |
|---------|--|
| 申請LOM | 仙台青年会議所 |
| LOMの人数 | 174名 |
| 理事長名 | 木皿 譲司 |
| 担当者名 | 文屋 恵輔 |
| 担当者携帯番号 | 08058407242 担当者Mailkei.bunya.seikoshoji@outlook.jp |
| 事務局住所 | 宮城県仙台市青葉区本町二丁目16-12仙台商工会議所ビル8階 |
| 事務局TEL | 022-222-9788 事務局FAX 022-222-9786 |

| | | |
|----------------------|---|------|
| 本事業の参加者 | 会員数 | 174名 |
| | 関係者数 | 7名 |
| | 一般参加者数 | 498名 |
| 事業実施に至る背景 400文字程度 | 新型コロナウイルスの感染拡大により、学校休校や教育関連事業の中止判断がなされる中、学びや活動の機会を失った子どもたちに対し、質の高い教育が求められております。私たちは、現在の社会情勢を子どもたちの自発的な行動意識を高める機会と捉え、学都仙台として市民と行政との連携の下、予測困難な時代でも社会の変化に対して、受け身ではなく自ら率先して行動を起こすことが必要であると考え、本事業を実施いたします。 | |
| 事業目的 400文字程度 | 【対外】 ・子どもたちの学びや活動に対する積極性を高めます。 ・子どもたちが能動的に行動を起こす重要性を認識します。 ・質の高い教育に向けて取り組む連携基盤を構築します。 【対内】 ・メンバーの子どもたちへの教育に対する意識を高めます。 ・メンバーの地域を牽引する次代のリーダー育成への積極性を高めます。 | |

| | |
|-----------|---|
| SDGsの該当項目 | <p>4. すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。</p> <p>5. ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。</p> <p>17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。</p> |
|-----------|---|

| | | |
|----------------------------|--|----------|
| <p>事業概要</p> <p>400文字程度</p> | <p>本事業は4つの構成で事業実施を行います。</p> <p>①アンケートの実施 宮城県及び仙台市の教育委員会、仙台市内各高校、高校生連携協議会と連携し、休校中の仙台市内の高校生にwebアンケートを実施しました。</p> <p>②未来を担う高校生オンラインサミット 高校生連携協議会が主体（仙台JCがサポート）となりオンライン上で未来を担う高校生オンラインサミットを開催しました。</p> <p>③宮城県及び仙台市への「高校生の声」の提出 サミットで出た内容を集約し「高校生の声」として、宮城県及び仙台市へ提出を行いました。</p> <p>④質の高い教育推進会議 高校生連携協議会と宮城県及び仙台市で数回、会議を開催します。</p> | |
| 開催期間・タイムスケジュール | <p>①2020年05月18日（月）～28日（水）webアンケート実施</p> <p>②2020年05月30日（土）未来を担う高校生オンラインサミット</p> <p>③2020年06月10日（水）宮城県及び仙台市へ「高校生の声」提出</p> <p>④2020年06月～10月 質の高い教育推進会議</p> | |
| 開催場所 | WEB上及び宮城県庁、仙台市役所 | |
| 事業区分 | 新規 | |
| 公益・共益区分 | 公益事業 | |
| 事業総予算・収支 | WEB開催のためなし | |
| 協力団体 | 共催 | 高校生連携協議会 |
| | 協賛 | |

| | | |
|---------------------------------|---|--|
| | 後援 | |
| | その他 | |
| 事業対象者 | 仙台市内高校生、宮城県教育庁、仙台市教育委員会 | |
| 行動 (ACTION TAKEN) 400文字程度 | <p>■事業調査・・・新型コロナウイルス感染拡大防止による学校の休校が長期化したことにより、登校が出来ず学習に遅れが生じ、様々な学校行事が中止となり、今までの高校生活が送れない状況となっています。</p> <p>■立案・・・過去に例のない現状に対して、高校生が何を思い考えているのかを調査し、当事者である高校生の意見を行政等と共有する必要があります。</p> <p>■会議流れ・・・2020年05月初旬より高校生連携協議会と宮城県教育庁及び仙台市教育委員会と協議を始め、同月の臨時理事会で審議を得て実行しました。</p> <p>■実施活動・・・オンライン上での非接触型の活動を中心に行いました。</p> <p>学校が休校の期間にwebアンケートを実施し、アンケート結果をもとに、高校生連携協議会と各校の代表者によるオンラインサミットを開催しました。オンラインサミットでの意見を「高校生の声」として、アンケート結果とともに行政へ提出を行いました。それをもとに行政および高校生連携協議会と「質の高い教育推進会議」の開催を行います。</p> | |
| 結果 (RESULT) | <ul style="list-style-type: none"> ・休校中に行ったアンケート調査では、498件の回答が寄せられました。 ・アンケート結果により、高校生のリアルな声を吸い上げ、行政及び市民へ発信することができました。 ・宮城県、仙台市、仙台市内高校生、LOMとの連携基盤を構築できました。 ・オンラインサミットにより、WEBの活用方法や話し合いの手法をんだ高校生は、さらに広い世界に目を向けられるようになりました。。 | |

| | |
|---------------------|---|
| 地域社会への影響 400文字程度 | <p>未来を担う高校生オンラインサミット、「高校生の声」の提出の際にテレビや新聞、ラジオに取り上げられたことで、地域に対してインパクトを与えることができました。また、一般的に教育現場での判断や決定は大人が行っていますが、本事業により当事者である高校生の意見を参考にしてもらう機会を創ることができました。高校生に対し、決定に従うだけでなく、当事者である自分たちの声を発信することで変えるきっかけにすることや、新しいことを始める機会を提供することで、能動的に動ける力を身に付けてもらうことができました。</p> |
|---------------------|---|

| | |
|--|---|
| <p>LOMへの影響</p> <p>400文字程度</p> | <p>行政、高校生とLOMが本事業を連携して行ったことで、今後の連携基盤を構築できました。また、LOMメンバーの、高校生の考えや行動に対する注目度が上がりました。特に、オンラインサミットの意見交換の様子を聞き、大人が考えている以上に高校生は主体性を持って、しっかりと自分の未来・日本の未来を考えているという印象を受けたメンバーが多かったと感じています。</p> |
| <p>事業の長期的な影響</p> <p>400文字程度</p> | <p>若き能動的且つ機動力溢れる市民による、市民、地域、行政を巻き込んだ、予測不能な事態に対しても対応できる持続可能なまちづくりに寄与し、グローバルな仙台を実現します。</p> |
| <p>考察や推奨</p> <p>400文字程度</p> | <p>今回のような予測不能な事態においても、機会を提供することにより、受け身ではなく当事者意識をもって行動できる若き人材を育成することが期待できます。高校生から出た意見を意見だけで終わらせるのではなく、実現に向けてサポートしていくことが必要であります。</p> <p>今回の未来担う高校生オンラインサミットの中で、参加した高校生たちから出た「海外の同年代の子どもたちとのWORLD ONLINE SUMMIT」や「オンライン グローバル文化祭」の実現に向けて引き続きサポートをしていきます。</p> |
| <p>改善点</p> | <p>・主体的に行動できる高校生に対し、最大限のより良い変化をもたらす機会を提供するために、希望した生徒にはできる限り参加してもらえるような環境の整備をしていきたいと考えます。</p> |
| <p>JCI活動計画の推進</p> <p>JCI VISION活動計画の推進</p> <p>JCI MISSION活動計画の推進</p> | <p>(事業を通じて、行ったJCIに関する推進活動を記入)</p> <p>1) 影響力 市内の高校生約500名からアンケートが集まり、ラジオ、テレビや新聞に取り上げられるなど、地域へインパクトを与えることができました。</p> <p>2) 意欲 オンラインサミットを通して、教育に対して受動的であった高校生たちが、当事者意識をもって考えられるようになりました。</p> <p>3) 投資 主にWEB上での開催が主の為、一切費用がかかっておりません。</p> <p>4) 協働 仙台市等の行政には今後開催予定の質の高い教育推進会議により、更なる質の高い教育に活かしていただきます。</p> |

| | |
|------------------------------------|--|
| | <p>5)つながり</p> <p>LOM主体の本事業により、高校生、行政、LOMが一体となって連携を深めることができました。</p> <p>「ミッション」</p> <p>アンケートの実施やオンラインサミットの開催は、子どもたちに能動的に行動を起こす重要性を認識をさせ、またコミュニケーション能力の成長をもたらす機会となりました。</p> <p>「ビジョン」</p> <p>LOM主体の本事業により、学生、行政、LOMが一体となって連携を深めることができた。</p> |
| <p>添付資料</p> <p>PDF資料2MB、5ページ以内</p> | <p>(事業風景写真、新聞記事、参加者や協力者から寄せられた感想文 など)</p> |



オンラインサミットの様子



オンラインサミットの様子



「高校生の声」を行政に提出

<届け！私たちの声>

<子どもの生きる力創出事業>

公益社団法人仙台青年会議所は2020年05月18日月曜日より「<子どもの生きる力創出事業～届け！私たちの声～>」を<WEB上で>行いました。詳細の内容につきましては、下記内容をご覧ください。

この<子どもの生きる力創出事業～届け！私たちの声～>は<コロナ問題により学校の休校が長期化した中で、子どもたちの学びや活動に対する積極性の向上や子どもたちが能動的に行動を起こす重要性の認識、さらに質の高い教育に向けて取り組む連携基盤の構築>を目的として開催されました。<アンケートにより約500名の高校生の声を行政や市民に発信することができ、オンラインサミットの内容やアンケート結果を行政に提出する過程で、宮城県、仙台市、仙台市内高校生、LOMとの連携基盤を構築し、さらに高校生にWEBの新たな活用方法を学んでもらう>という結果、目的を達成する事ができました。今後、行政および高校生連携協議会と質の高い教育推進会議を重ね、更なる連携の強化と質の高い教育の実現を目指します。

<子どもの生きる力創出事業>とは？

詳細な事業内容

期日：2020年5月18日より開始

会場：WEB上

(事業内内容)

本事業は4つの構成で事業実施を行います。

①アンケートの実施

宮城県及び仙台市の教育委員会、高校生連携協議会と連携し仙台市内の高校生にアンケートの実施をします。

②未来を担う高校生オンラインサミット

高校生連携協議会が主体(仙台JCがサポート)となりオン

写真 1



写真 2

